

飯島一雄氏寄贈 北海道東部産寄生蜂標本目録 - 膜翅目コンボウヤセバチ科・コマユバチ科・ヒメバチ科 -

土屋 慶丞^{*}

Catalogue of parasitoid wasp specimens from Eastern Hokkaido, Kazuo IJIMA Collection (III)
- HYMENOPTERA: Gasteruptidae, Braconidae and Ichneumonidae -
Keisuke TSUCHIYA^{*}

はじめに

標茶町の飯島一雄氏(1928~2016)が収集し、没後ご遺族より寄贈された北海道東部産昆虫標本コレクションのうち、寄生蜂類の整理分類が完成したので目録を公開する。

標本は「飯島一雄コレクション」原標本膜翅目No. 8-11の4箱に収納して釧路市立博物館で保管している。標本データは国立科学博物館サイエンスミュージアムネット(S-Net)に情報提供することによりWeb上で公開する。

目録作成にあたりコンボウヤセバチ科とヒメバチ科全般は渡辺恭平氏に、コマユバチ科は藤江隼平氏に、ヒメバチ科のコンボウアメバチ亜科とアメバチ亜科は清水壮氏に、ハバチアメバチ亜科アメバチモドキ属は小西和彦氏に同定をご依頼した。

研究を通して長年にわたり当館の活動を支えられた飯島一雄氏(故人)、標本寄贈の労をとられた大崎恵美子氏、同定を快諾された渡辺恭平氏、藤江隼平氏、清水壮氏および小西和彦氏、標本写真を撮影された加藤春雄氏の各位に深謝申し上げる。

凡例

- 1) 採集地名、個体数、性別、採集年月日(日-月-年)の順に表記した。市町村名は最初の記録のみ明記し、2例目以降は省略した。
- 2) 採集者名は採集年月日の後ろに括弧書きして謝意とした。明記ない標本は飯島一雄氏が採集されたものである。
- 3) 採集データ末尾に※のついている個体は渡辺恭平氏が保管している。
- 4) 地名は採集ラベルの表記に従った。
- 5) 学名、和名及び配列は日本昆虫目録編集委員会(2020)を参考にした。

標本目録

原標本膜翅目No.8

GASTERUPTIDAE コンボウヤセバチ科

1. *Gasteruption japonicum* Cameron
オオコンボウヤセバチ

標茶町二ツ山: 1♀, 12-IX-1964; 同: 1♀, 16-VII-1972; 同: 1♀, 20-VIII-1973

BRACONIDAE コマユバチ科

Agathidinae タテスジコマユバチ亜科

1. *Braunsia antefurcalis* Watanabe
フトオコマユバチ
標茶町新久著呂: 1♂, 10-VII-1980

Homolobinae コンボウコマユバチ亜科

2. *Homolobus (Phylacter) annulicornis* (Nees)
アメイロコンボウコマユバチ
釧路市鶴見橋: 1♀, 8-VI-2005 (北開水工)

Macrocentrinae ヒゲナガコマユバチ亜科

3. *Macrocentrus cingulum* Brischke
メイガヒゲナガコマユバチ
二ツ山: 4♀, 31-VII-1986

Rogadinae カモドキバチ亜科

4. *Aleiodes (Aleiodes) varius* (Herrich-Schäffer)
オオカモドキバチ
二ツ山: 1♂, 12-VIII-1971

ICHNEUMONIDAE ヒメバチ科

Acaenitinae ケンオナガヒメバチ亜科

1. *Arotes moiwanus* (Matsumura)
モイワケンヒメバチ
二ツ山: 1♀, 18-VII-1966【写真1】; 同: 1♀, 15-VII-1974^{*}
“北海道では普通に見られるが、釧路産の標本は斑紋が他の地域と少し異なる印象を受ける(渡辺 私信)”

2. *Coleocentrus incertus* (Ashmead)
コンボウケンヒメバチ
弟子屈町川湯: 1♀, 13-VII-1975; 置戸町鹿の子ダム: 1♀, 16-VI-2004 (北開水工)
3. *Coleocentrus* sp.
鹿の子ダム: 1♀, 8-VII-1999 (北開水工)^{*}

* 釧路市立博物館 Kushiro City Museum

Anomaloniinae コンボウアメバチ亜科

4. *Aphanistes* sp.
鶴居村キラコタン：1♀, 6-IX-1971
5. *Heteropelma amictum* (Fabricius)
カラフトコンボウアメバチ
弟子屈町朝日：1♀, 13-VIII-1975 (飯島猛美)
6. *Therion circumflexum* (Linnaeus)
マツヤドリコンボウアメバチ
ニツ山：1♀, 30-VIII-1966；標茶町塘路：2♀, 1-VIII-1971；キラコタン：1♀, 6-IX-1971；川湯：1♀, 13-VIII-1975；北見市豊地大橋：2♀, 5-IX-1999 (北開水工)；湧別町一号橋：1♀, 11-IX-2000 (北開水工)；鹿の子ダム：1♀, 17-VI-2004 (川原進)；音更町国見橋：1♀, 24-IX-2004 (北開水工)；朝日：1♀, 13-VIII-1975；紋別市渚滑橋：1♀, 26-VII-2006 (北開水工)

Banchinae ウスマルヒメバチ亜科

7. *Lissonota (Lissonota) lineolaris* (Gmelin)
クボミホソウスマルヒメバチ
朝日：2♀, 24-VII-1995 (北開水工) 【写真2】
“北海道には普通にいるが本州では得られていない。ユーラシア大陸では普通種であり、北海道と大陸のファウナの関連性を示す種である (渡辺 私信)”
8. *Teleutaea orientalis* Kuslitzky
トウヨウナガハマキヤドリヒメバチ
ニツ山：1♀, 8-VIII-1971

Campopleginae チビアメバチ亜科

9. *Dusona* sp.
ニツ山：1♀, 25-IX-1966*；一号橋：1♀, 8-IX-2000；渚滑橋：1♂, 13-VI-2006 (北開水工)

Cryptinae トガリヒメバチ亜科

10. *Hedycryptus tenuiabdominalis* (Uchida)
ハラボソトガリヒメバチ
朝日：1♀, 9-VI-1995 (北開水工)
11. *Thrybius togashii* Kusigemati
アシハトガリヒメバチ
北見市金比羅橋：1♀, 9-VI-2004 (北開水工)
12. *Echthrus reluctator sibiricus* Kokujev
アシグロトガリヒメバチ
羅臼町植別川：1♂, 8-VII-1990
13. *Megaplectes monticola dentatus* Uchida
フトツノトガリヒメバチ
弟子屈町摩周岳：1♂, 17-VIII-1969

Ctenopelmatinae マルヒメバチ亜科

14. *Protarchus testatorius* (Thunberg)
釧路市大楽毛海岸：1♀, 29-VIII-1995* 【写真3】
“国内では東北地方から記録があり、神奈川県博には本州産の1メスしかない。北海道初記録

(渡辺 私信)”

15. *Mesoleius* sp.
鹿の子ダム：1♂, 26-VI-2010 (北開水工)
16. *Opheltes glaucopterus apicalis* (Matsumura)
ベッコウアメバチモドキ
ニツ山：1♀, 15-IX-1951；同：1♂, 20-VIII-1965；同：1♀, 28-IX-1966；同：1♂, 28-VII-1967；同：1♀, 6-VIII-1967；同：1♀, 2-IX-1968；同：1♀, 24-IX-1970；同：1♂, 22-VII-1971；同：1♀, 18-IX-1971；同：1♀, 20-IX-1971；同：1♂, 10-VIII-1972；同：1♂, 12-VIII-1978；同：1♀, 7-IX-1980；同：1♂, 16-VIII-1983；同：1♂, 5-VIII-1986；同：1♀, 11-IX-1987；同：1♀, 28-IX-1987；同：1♂, 20-VIII-1988；同：1♀, 16-IX-1991；羅臼町羅臼湖 (第一)：1♂, 29-VIII-1982；標茶町下オソツベツ：1♂, 24-VII-1995；標茶町南標茶：1♂, 25-VII-2000 (北開水工)；釧路町細岡：1♀, 4-IX-2000；網走市嘉多山キャンプ場：1♀, 29-VII-2003 (北開水工)

原標本膜翅目No.9**Ichneumoninae** ヒメバチ亜科

17. *Callajoppa cirrogaster bilineata* Cameron
ウチスズメヤドリヒメバチ
ニツ山：1ex., 22-VI-1963；同：1ex., 20-VI-1965；同：1ex., 15-VIII-1968；阿寒町阿寒湖畔：1♀, 6-IX-1977 【写真4】；羅臼町羅臼温泉：1♂ 4exs., 29-VII-1982；阿寒町雌阿寒岳 (フレベツ林道)：1♀, 10-VIII-2001 (名嘉真郁子)
“北海道では普通に見られるようであるが、本州、特に関東以西ではかなり稀な種である (渡辺 私信)”
18. *Coelichneumon* sp.
ニツ山：1ex., 15-VI-1976；同：1ex., 17-IX-1989；標茶町虹別 (93林班)：1ex., 14-VI-1995
19. *Protichneumon platycerus* (Kriechbaumer)
オオツマグロヒメバチ
ニツ山：1♀, 1-IX-1966；帯広市第二売買川放水路：1♀, 9-IX-1998 (北開水工)
20. *Heresiarchini*, gen. et sp. indet.
ニツ山：1ex., 19-X-1989
21. *Achais oratorius albizonellus* (Matsumura)
シロスジヒメバチ
小清水町藻琴山：1♂, 22-IX-1993 【写真5】
“普通種であるが、釧路の個体は通常日本の個体群では見られる前伸腹節の白紋が消失している点で特異的である。ただし、追加個体を採集して傾向を調べる必要がある (渡辺 私信)”
22. *Cratichneumon luteiventris* (Gravenhorst)
ムナグロアカヒメバチ
津別町達媚橋：1♂, 19-VI-1998 (北開水工)
23. *Cratichneumon* sp.

- 藻琴山：lex., 22-IX-1993；鹿の子ダム：lex., 22-VII-2004 (北開水工)
24. *Diphyus akaashii* (Uchida) キミスジヒメバチ
鹿の子ダム：1♂, 28-VII-2010 (北開水工)
25. *Diphyus trifasciatus* (Gravenhorst)
キマダラヒメバチ
二ツ山：1♀, 15-VI-1967*【写真6】
“国内では珍しい種のように、しっかりとしたラベルデータが伴った標本を渡辺は初めて見た。神奈川県博に標本はない(渡辺 私信)”
26. *Diphyus* sp.
二ツ山：1♂, 13-VI-1966*
27. *Eutanyacra picta* (Schrank)
カブラヤガヤドリヒメバチ
北見市豊地：1♀, 5-IX-1999；一号橋：1♀, 8-IX-2000 (北開水工)；紋別市中渚滑：2♂, 20-VII-2006 (北開水工)
28. *Hoplismenus pica japonicus* Uchida
ヒョウモンヒメバチ
二ツ山：1♀, 10-VIII-1974；同：1♀, 30-VII-1998
29. *Hoplismenus* sp.
二ツ山：lex., 26-VIII-1967
30. *Ichneumon molitorius* Linnaeus
シロテンアカヤガヒメバチ
二ツ山：2♀, 20-I-1966【写真7】
“普通種であるが、コレクション中の標本2個体は朝比奈英三博士の研究に用いられた証拠標本と考えられることから学術的価値が高い(渡辺私信)”
31. *Ichneumon primatorius grandis* (Ashmead)
エゾオオヒメバチ
二ツ山：1♀, 31-III-1968
32. *Ichneumon sexmaculatus* Matsumura
ムツボシヒメバチ
二ツ山：1♀, 10-VIII-1966；端野町忠志橋：1♂, 29-VII-2004 (川原進)
33. *Ichneumon yumyum* Kriechbaumer
マダラヒメバチ
朝日：1♂, 5-IX-1995
34. *Ichneumon* sp.
塘路(標茶町郷土館)：lex., 15-X-1997；細岡：lex., 21-VII-2003 (北開水工)
35. *Ichneumonini*, gen. et sp. indet.
摩周岳(第1~3展望間)：1♂, 31-VIII-1966；摩周岳：1♂, 17-VIII-1969；二ツ山：1♂, 16-VII-1972；同：1♂, 4-VIII-1972；標茶町雷別(93林班)：1♂, 28-X-1986；塘路湖東丘陵：1♂, 3-X-1993；鹿の子ダム：1♂, 7-IX-2010 (北開水工)
36. *Stenichneumon militarius naironis* Uchida
ナイロヒメバチ
鹿の子ダム：1♂, 25-VI-2010 (北開水工)
37. *Ctenichneumon* sp.
二ツ山：lex., 12-IX-1964*

Mesochorinae フタオヒメバチ亜科

38. *Cidaphus areolatus* (Boie)
ミヤマオオフタオヒメバチ
標茶町五十石：1♀, 26-V-2000 (名嘉真郁子)

Metopiinae メンガタヒメバチ亜科

39. *Colpotrochia (Scallama) orientalis* (Uchida)
ツヤアシブトヒメバチ
二ツ山：1♂, 7-IX-1980*【写真8】
“少ない種で、神奈川県博にはごくわずかな標本しかない(渡辺 私信)”
40. *Metopius (Ceratopius) dissectorius* (Panzer)
ムラサキメンガタヒメバチ
二ツ山：1♂, 20-IX-1962；同：1♂, 14-VIII-1974；同：1♂, 30-IX-1979；同：1♂, 24-VIII-1985；同：1♂, 13-VIII-1998

Ophioninae アメバチ亜科

41. *Enicospilus pudibundae* (Uchida)
ドクガホシアメバチ
二ツ山：1♀, 28-VIII-1971
42. *Enicospilus ramidulus* (Linnaeus)
サキグロホシアメバチ
一号橋：1♀, 1-VIII-2000 (北開水工)；南標茶：1♀, 6-IX-2000 (北開水工)
43. *Enicospilus* sp.
南標茶：1♀, 6-IX-2000 (北開水工)；第二売買川：1♀, 17-VIII-1998 (北開水工)
44. *Ophion* sp.
二ツ山：1♀, 1-IX-1967；同：1♂, 18-V-1970；同：2♀, 25-IX-1970；同：1♀, 16-VIII-1971；同：1♀, 18-VIII-1971；同：2♂, 16-IX-1971；同：1♂, 31-VIII-1981；同：1♂, 3-X-1981；同：2♂1♀, 5-X-1983；同：1♂, 22-IX-1987；同：1♀, 5-X-1990；同：1♀, 16-IX-1991；同：1♂, 24-VI-1994；南標茶：1♂, 12-IX-1995 (北開水工)；五十石：1♂, 26-V-2000 (名嘉真郁子)；弟子屈町：1♀, 7-IX-1995 (北開水工)
45. *Stauropoctonus bombycivorus* (Gravenhorst)
マダラオオアメバチ
二ツ山：1♂, 24-VIII-1966；同：1♂, 26-VII-1989；同：1♀, 12-VII-1994；藻琴山：1♂, 26-VII-2001 (名嘉真郁子)

原標本膜翅目No.10

Pimplinae ヒラタヒメバチ亜科

46. *Perithous albicinctus* (Gravenhorst)
シロスジハチヤドリヒメバチ
二ツ山：1♀, 6-VIII-1971
47. *Dolichomitus melanomerus macropunctatus* (Uchida)
クロコブフシヒメバチ
二ツ山：1♀, 16-VIII-1968；同：1♀, 30-IX-1971；本別町静山：1♀, 12-VIII-1995

48. *Dolichomitus mesocentrus* (Gravenhorst)
テンフシヒメバチ
ニツ山：1♀, 10-X-1963；同：1♀, 10-VIII-1995
【写真9】
“北海道では比較的普通だが、本州では山地で得られ、個体数が少ない種である。ファウナを特徴づける種であるといえる（渡辺 私信）”
49. *Dolichomitus tuberculatus jezoensis* (Uchida)
コブフシヒメバチ
ニツ山：1♀, 15-X-1982【写真10】
“北海道では比較的普通だが、本州では山地で得られ、個体数が少ない種である。ファウナを特徴づける種であるといえる（渡辺 私信）”
50. *Endromopoda annularis* (Ashmead)
アシプトフシヒメバチ
細岡：1♀, 4-IX-2000
51. *Ephialtes hokkaidonis* Uchida
エゾホソオナガヒメバチ
ニツ山：1♀, 6-X-1967；同：1♀, 11-X-1970；同：1♀, 17-VII-2007；同：1♀, 29-VII-2011
52. *Paraperithous chui* (Uchida)
チュウフシオナガヒメバチ
五十石：1♀, 15-VIII-1999 (名嘉真郁子)
53. *Apechthis capulifera* (Kriechbaumer)
コキアシヒラタヒメバチ
ニツ山：1♀, 20-VII-1975；同：1♀, 9-VII-19XX
54. *Pimpla aethiops* Curtis
イチモンジヒラタヒメバチ
鶴見橋：1♀, 21-IX-2000 (名嘉真郁子)【写真11】
“北海道での個体数は不明であるが、関東近郊では水辺環境の劣化で激減している。他の黒い *Pimpla* は森林に生息するが、本種は湿地に生息する（渡辺 私信）”
55. *Pimpla pluto* Ashmead
クロフシヒラタヒメバチ
鹿の子ダム：1♀, 26-VI-2010 (北開水工)
56. *Pimpla rufipes* (Miller)
キアシヒラタヒメバチ
ニツ山：1♀, 20-IX-1962*；釧路市武佐：1♀, 18-X-1989【写真12】；帯広市空南橋：1♂, 15-VII-1997 (北開水工)
“今のところ国内では北海道特産。ユーラシア大陸では普通種であり、北海道と大陸のファウナの関連性を示す種である。神奈川県博には雌雄1個体しかない（渡辺 私信）”
57. *Pimpla turionellae* (Linnaeus)
シロワヒラタヒメバチ
ニツ山：1♀, 16-IV-1986
58. *Theronia (Theronia) atalantae gestator* (Thunberg)
チャイロツヤヒラタヒメバチ
雷別 (84林班)：1♂, 19-VIII-1976；標茶町上オソツベツ (国有林53林班)：1♂, 14-X-1976
59. *Theronia (Theronia) laevigata nigra* Uchida
クロツヤヒラタヒメバチ
鹿の子ダム：1♀, 10-IX-2004 (北開水工)
- Poemeniinae クチキヒメバチ亜科**
60. *Poemenia hectica* (Gravenhorst)
クチキヒメバチ
ニツ山：1♀, 22-VII-1994
- Rhyssinae オナガバチ亜科**
61. *Epirhyssa japonica* Cameron
シラホシオナガバチ
紋別市上渚滑：1♀, 27-VII-2006 (北開水工)
62. *Megarhyssa gloriosa* (Matsumura)
オオアメイロオナガバチ
羅臼町：1♀, 1-VIII-1969 (澤四郎)；鹿の子ダム：1♀, 22-VII-1999 (北開水工)【写真13】
“北海道では比較的普通だが、本州では山地で得られ、個体数が少ない種である。ファウナを特徴づける種であるといえる。オオアメイロオナガバチはいずれも極めて大型の個体で、このサイズの個体はほとんど見られない。オナガバチの仲間は寄主サイズに左右され、以前よりも太い枯れ木が減った現在では、このような大型個体は中々得られない（渡辺 私信）”
63. *Megarhyssa jezoensis* (Matsumura)
エゾオナガバチ
ニツ山：1♀, 28-VI-1968
64. *Rhyssa amoena* Gravenhorst
ジョウザンオナガバチ
ニツ山：1♀, 2-IX-1994；同：1♀, 20-IX-2008；標茶町パイロットフォレスト17林班：1♀, 3-IX-1986；川湯：1♂, 29-VI-1964；静山：1♀, 12-VIII-1995
65. *Rhyssa persuasoria* (Linnaeus)
シロフオナガヒメバチ
ニツ山：1♀, 6-VII-1976；標茶町桜：1♀, 25-VI-1987 (成田庄二郎)
66. *Rhyssella furanna* (Matsumura)
フランオナガバチ
ニツ山：1♀, 22-VII-1988
- 原標本膜翅目No.11**
- Tryphoninae ハバチヒメバチ亜科**
67. *Netelia (Bessobates) frenata* Tolkantitz
朝日：1♂, 8-IX-1995 (北開水工)
68. *Netelia (Bessobates) yakushimensis* Konishi
ヤクシマアメバチモドキ
ニツ山：1♂, 18-IX-1971【写真14】
69. *Netelia (Bessobates) sp.*
ニツ山：1♀, 16-IX-1965；同：1♀, 15-X-1982；同：1♀, 16-IX-1991；南標茶：1♀, 6-IX-2000 (北開水工)

“*Netelia*属はオス交尾器形態が種同定の決め手になっているため、メスの標本は同定不可能なことが多い(小西 私信)”

70. *Netelia (Netelia) melanura* (Thomson)
アカアメバチモドキ
ニツ山：1♀, 16-IX-1965；同：1♀, 1-IX-1966；同：1♂, 30-IX-1973；同：3♂1♀, 5-X-1983；同：1♂, 31-VIII-1989；同：1♂1♀, 12-IX-1990；雷別：1♀, 6-VII-1972；釧路町昆布森：1♂, 30-VI-1997
71. *Netelia (Netelia) rapida* Tolkanitz
渚滑橋：1♂, 19-IX-2001(北開水工)
72. *Netelia (Netelia) sp.*
ニツ山：1♂1♀, 14-IX-1971；置戸町林友橋：1♂, 7-IX-1999
73. *Netelia (Paropheltes) savchenkoi* Tolkanitz
朝日：1♂, 8-IX-1995(北開水工)
74. *Netelia (Prosthodocis) sp.*
ニツ山：1♀, 16-IX-1991；一号橋：1♂, 1-VII-2000
75. *Netelia sp.*
鹿の子ダム：1ex., 10-IX-2004(北開水工)
76. *Polyblastus (Polyblastus) cothurnatus* (Gravenhorst)
鹿の子ダム：1♀, 26-VI-2010(北開水工)*【写真15】
“国内では国後島から記録があるのみで、北海道初記録である。神奈川県博に標本はない(渡辺 私信)”

Xoridinae マルズヒメバチ亜科

77. *Odontocolon rufum* (Uchida)
ニツ山：1♀, 25-VII-1977；同：1♀, 12-VIII-1978

採集地名一覧

釧路

- 阿寒町：阿寒湖, 雌阿寒岳
釧路市：大楽毛海岸, 鶴見橋, 武佐
釧路町：昆布森, 細岡
標茶町：上オソツベツ^{*1}, 五十石, 桜, 下オソツベツ^{*2}, 新久著呂, 塘路, 塘路湖, 南標茶, 虹別, パイロットフォレスト, ニツ山, 雷別
鶴居村：キラコタン
弟子屈町：朝日, 川湯, 摩周岳

根室

- 羅白町：植別川, 羅白温泉, 羅白湖

十勝

- 音更町：国見橋
帯広市：第二売買川, 空南橋
本別町：静山

網走

- 網走市：嘉多山キャンプ場
置戸町：鹿の子ダム, 林友橋
北見市：金比羅橋, 豊地, 豊地大橋
小清水町：藻琴山
端野町：忠志橋
津別町：達媚橋
紋別市：上渚滑, 渚滑橋, 中渚滑
湧別町：一号橋

*1. ラベル地名は上オソベツ。

*2. ラベル地名は下オソベツ。

参考文献

- 日本昆虫目録編集委員会. 2020. 日本昆虫目録. 9膜翅目(2)細腰亜目寄生蜂類. 日本昆虫学会・権歌書房・星雲社, 東京.



写真1
Arotes moiwanus (Matsumura)
モイワケンヒメバチ



写真2
Lissonota (Lissonota) lineolaris (Gmelin)
クボミホソウスマルヒメバチ

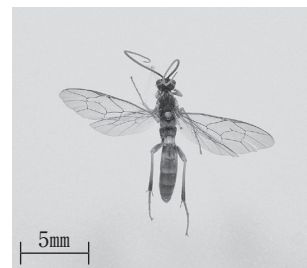


写真3
Protarchus testatorius (Thunberg)



写真 4
Callajoppa cirrogaster bilineata
Cameron
ウチスズメヤドリヒメバチ



写真 5.
Achaius oratorius albizonellus
(Matsumura)
シロスジヒメバチ



写真 6
Diphyus trifasciatus (Gravenhorst)
キマダラヒメバチ



写真 7
Ichneumon molitorius Linnaeus
シロテンアカヤガヒメバチ



写真 8
Colpotrochia (Scallama) orientalis
(Uchida)
ツヤアシフトヒメバチ



写真 9
Dolichomitus mesocentrus
(Gravenhorst)
テンフシヒメバチ



写真 10
Dolichomitus tuberculatus
jezoensis (Uchida)
コブフシヒメバチ

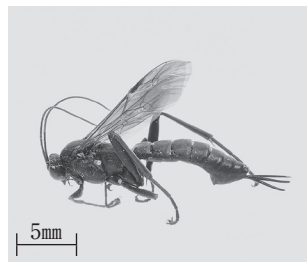


写真 11
Pimpla aethiops Curtis
イチモンジヒラタヒメバチ



写真 12
Pimpla rufipes (Miller)
キアシヒラタヒメバチ



写真 13
Megarhyssa gloriosa (Matsumura)
オオアメイロオナガバチ



写真 14
Netelia (Bessobates)
yakushimensis Konishi
ヤクシマアメバチモドキ



写真 15
Polyblastus (Polyblastus)
cothurnatus (Gravenhorst)